韓国水質改善システム開発プロジェクト
研究発表実績

＜水質改善分野＞

ー水質工学科ー

1. 林蓮澤等、“汚排水処理新工法研究（V）”、国立環境研究院報、Vol.17、pp 137～146、1995
2. 林蓮澤等、“嫌気・好気活性汚泥と限外濾過膜による排水処理”、韓国水質保全学会、学術研究発表会論文抄録集、pp 97～101、1996
3. 林蓮澤等、“汚排水処理新工法研究（VI）”、国立環境研究院報、Vol.18、pp 143～159、1996
4. 林蓮澤等、“間欠曝気型酸化溝工法による汚水処理”、韓国水質保全学会、学術研究発表会論文抄録集、pp 127～130、1997
5. 金容　等、“生物膜工法を利用した汚水処理技術開発”、韓国水質保全学会、秋季学術発表会論文抄録集、pp 181～184、1997
6. 韓基鳳等、“河川敷地を利用した水路浄化法での担体別汚染河川水処理効率の比較評価”、韓国水質保全学会、秋季学術発表会論文抄録集、pp 37～40、1997
7. Gee Bong Han et al., “Ultrafiltration for activated sludge separation in waste-water treatment system”,6th IAWQ Asia Pacific Regional Conference, pp 1483～1490, 1997
8. Yuhei Inamori et al., “International Cooperative Research between Japan and Korea on Advanced Domestic Wastewater Treatment Systems”,6th IAWQ Asia Pacific Regional Conference, Vol.2, pp 1741～1748, 1997
9. 柳在根、“生活・畜産排水処理技術開発とJICAプロジェクト”、日本水環境学会誌、Vol.20、pp 22～26、1997

<水質管理分野>

ー水質化学科ー

1. “河川水質管理システム開発（Ⅰ）”、国立環境研究院報、Vol.15、1993
2. “水質改善システム開発（Ⅱ）”、国立環境研究院報、Vol.16、1994
3. “水質改善システム開発（Ⅲ）”河川環境容量算定技法開発、国立環境研究院報、Vol.17、1995
4. “水質改善システム開発（Ⅲ）”湖沼環境容量算定技法開発、国立環境研究院報、Vol.17、1995
5. “水質改善システム開発（Ⅳ）”、国立環境研究院報、Vol.18、1996
6. “河川の自然浄化能評価”、韓国水質保全学会、96学術研究発表会、1996
7. “水質改善システム開発（Ⅴ）”、国立環境研究院報、Vol.19（予定）、1997
8. “河川・湖沼の水質保全と流域管理に関する韓・日共同セミナー”、発表抄録集、1997

ー漢江水質検査所ー

1. 孔東壽、“八堂湖の流入負荷解析と水質現況”、Kor.-Jap.Symp.Qual.Preser., pp. 119～148、1993
2. 孔東壽等、“八堂湖の生態学的研究 1.水質の経年化：過去と現在”、韓国陸水学会誌 pp.141～149、1993
3. Kong, D.S, “Analyses on Input Loading of Paldang Reservoir”、日本国立環境研究所、F-57-93、1993
4. 中島淳等、“grazer構成が異なら実験池でみられたフェオ色素造成の特徴”、第29回日本陸水学会講演集、p.69、1994
5. 福島武彦等、“魚の湖沼水質変動に及ぼす影響”、日本国立環境研究所、F-57-94、1994
6. Kong, D.S. et al. “Effects of aquatic animals on settling and decomposition of particulate materials”、日本国立環境研究所、F-57-94、1994
7. 福島武彦等、“魚の湖沼水質変動に及ぼす影響”、第28回日本水環境学会年会講演集、pp.582～583、1994

8. Kong, D.S. et al., "Some effects of aquatic animals (Zooplankton and small omnivorous fish" on settling and decomposition of particulate materials、韓国陸水学会春季学術大会特別講演、pp.9～26、1994

9. 孔東壽、"湖沼の富栄養化及び管理"、韓国環境毒性学会春季学術大会特別講演、pp.51～53、1994

10. 孔東壽等、"大型水生生物による水質改善技法"、韓国環境生物学会春季学術大会特別講演、pp.15～36、1994

11. Recknagel.F. et al., "Short and long term control of external and internal phosphorus loads in lakes -A scenario analysis-", Water Research. pp.1767～1779、1995

12. 孔東壽等、"水中栄養段階の調節による一次生産者の管理"、韓国陸水学会春季学術大会要約集、p.8、1995

13. Kong, D.S, "Water Resources Management in the Republic of Korea"、Water Resources, pp.104～110、1995

14. 孔東壽等、"湖沼内汚染河川流入部の植物による浄化処理研究（Ⅰ）"、国立環境研究院報、Vol.17、pp.241～256、1995

15. 福島武彦等、"魚の水質、物質循環に及ぼす影響に関する実験的研究"、日本水環境学会誌、pp.45～55、1995

16. Fukushima.T. et al., "Effects of Fish on Water Quality and Nutrient Cycle from an Outdoor Pond Experiment", 6th International Conference on the Conservation and Management of Lakes Kasumigaura, pp.789～792、1995

17. 孔東壽等、"Salviniaを利用する栄養塩類の除去方案研究"、大韓環境工学会誌、pp.593～603、1995

18. 孔東壽、"八堂湖の栄養構造的特性"、水質改善システム開発に関する韓日シンポジウム、pp.167～196、1995

19. 孔東壽等、"湖沼内汚染河川流入部の植物による浄化処理研究（Ⅱ）"、国立環境研究院報、Vol.18、pp.289～315、1996

20. 孔東壽等、"八堂湖の水文変動と藻類増殖特性"、世界水の日記念水質改善及び管理セミナー、pp.55～56、1996

21. 孔東壽等、“八堂湖の水収支及び水文特性”、韓国陸水学会誌、pp.51～64、1996
22. 孔東壽、“国内人工湖水の富栄養化の制御方案”、湖沼の富栄養化防止対策に関する韓日セミナー、pp.79～103、1996
23. 孔東壽等、“八堂湖の放射環境及び熱収支”、韓国陸水学会誌、pp.39～50、1996
24. Ryu.J.K, et al., "Water Quality Management in Korea"、水処理及び水質保全技術に関する国際Workshop, pp.21～32、1996
25. 孔東壽等、“大型水生植物及び付着塩類を利用する湖水質浄化と収穫物の再利用”、韓日地方間生態工学的水質改善工法に関するシンポジウム、pp.115～154、1996
26. 孔東壽、“大型水生植物を利用する水質改善技法の現況と展望”、第198回学研産研究交流会、pp.1～51、1997
27. Kong, D.S. et al., "Settling characteristics of particulate matters in the confluence zone of a polluted stream in Reservoir Paldang" ,97韓国陸水学会春季学術大会posta発表、p.152、1997
28. Kong, D.S. et al., "Nutrient removal from nutrient medium ans a hypertrophic stream by filamentous attached green algae" ,97韓国陸水学会春季学術大会posta発表、p.169、1997
29. Kong, D.S. et al., "Effects of phytoplanktivorous fish (Silvercarp) on the water quality and phytoplankton community" ,97韓国陸水学会春季学術大会posta発表、p.175、1997
30. Kong, D.S. et al., "Nitrogen and phosphorus removal from the secondary treated domestic sewage by vascular aquatic plants" ,97韓国陸水学会春季学術大会posta発表、p.178、1997
31. Kong, D.S. et al., "Vertical sediment quality profile of the confluence zone of the polluted stream in Lake Paldang" ,97韓国陸水学会春季学術大会posta発表、p.188、1997
32. Kong, D.S. "Eutrophication characteristics and Trophic Structure of a Korean Impounded Reservoir Paldang" ,International Symposium on Eutrophication and Water Resources Management , pp.77～98、1997
33. 孔東壽、“大型水生植物を利用する生態工学的水質改善方案”、97国内外韓国科学技

術者学術会議環境科学Workshop. pp.117～127、1997

34. 孔東壽、"国内湖沼の栄養状態の判定基準に関する諸苦"、河川・湖沼の水質保全と流域管理に関する韓日ｾﾐﾅｰ, pp.251～266、1997

35. 孔東壽、"汚水処理に利用される湿地植物と植物種別効率性"、効率的な軍部隊の水質管理方案に関するｾﾐﾅｰ, pp.41～53、1997

36. Kong, D.S, "Application of ecotechnology for nutrients removal" ,Frontiers in biology ; the challengies of biodiversity biote chnology and sustainable agriculture, p.11、1997

37. 孔東壽等、"汚染河川の植物による浄化処理"、環境復元ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ、1997

その他研究の成果品リスト

番号	標題	分野	内容	進捗状況	備考
1	農村集落生活排水処理実験施設	水質改善 生活系排水処理技術	韓国に多くある50戸規模集落を対象とした生活排水処理施設。 供与施設の構造を参考に、韓国に適合するように設計。 容易な維持管理が重点目標。	実施設計完了 実験施設設置完了 運転しデータ採取中	
2	飲食店向け小規模合併浄化槽標準タイプ	水質改善 生活系排水処理技術	油を多く含む飲食店排水用の、FRP製合併浄化槽。 容易な維持管理が重点目標。	実施設計完了 実験施設設置工事中	
3	畜産排水処理ベンチスケール試験	水質改善 畜産排水処理技術	供与施設の運転経験と日本での短期研修の成果をもとに、韓国に適合するようにC/Pが考案した排水処理方法。 容易な維持管理が重点目標。	基礎試験開始	

（6） 韓国側予算投入実績

國立環境研究院の豫算(計劃と實積)に關し

1) 研究院全體の過去3年の調査研究事業の豫算推移

（ 單位 ： 百萬won ）

年度 / 豫算	1995	1996	1997
研　究　費	1,426	1,607	1,793

2) 研究院 全體豫算で研究院 各部別 豫算が占める比率の變遷

（ 單位 ： 百萬won ）

部署 / 年度	合 計	環境保健研究部	大 氣研究部	水 質研究部	廢棄物研究部	自動車公害(研)	水質檢査所			
							漢江	洛東江	錦江	榮山江
1995	1,426 (100%)	160 (11.2%)	267 (18.7%)	378 (26.5%)	287 (20.1%)	76 (5.3%)	-	-	-	-
1996	1,607 (100%)	234 (14.6%)	291 (18.1%)	436 (27.1%)	265 (16.5%)	106 (6.6%)	83 (5.2%)	64 (4.0%)	64 (4.0%)	64 (4.0%)
1997	1,793 (100%)	285 (15.9%)	367 (20.5%)	384 (21.4%)	314 (17.5%)	124 (6.9%)	92 (5.1%)	77 (4.3%)	75 (4.2%)	75 (4.2%)

韓日協力事業の研究費総額及び韓国側負担研究費の内訳

1）韓日協力事業の研究費総額

研究期間	韓国側	日本側
93.8～97.12	1,418,930千ウォン	1. 機材購入：384,800,000円 2.技術研修費用 短期（1ヶ月）　3人 長期（1　年）　8人 3.短期専門家滞在費用：68人 4.長期専門家滞在費用：6人

2）韓国側研究費の負担内訳

(1) 水質改善分野

年度	研究題目	予算額（千ウォン）	詳細予算
総額	4課題	653,263	
94.1～94.12	"汚排水処理新工法研究（Ⅳ）"	196,103	別添1参考
95.1～95.12	"汚排水処理新工法研究（Ⅴ）"	147,118	別添1参考
96.1～96.12	"汚排水処理新工法研究（Ⅵ）"	155,000	別添1参考
97.1～97.12	"汚排水処理実用開発に関する研究(Ⅰ)"	155,042	別添1参考

(2) 水質管理分野

年度	研究題目	予算額（千ウォン）	詳細予算
総額	8課題	765,667	別添1参考
93.1～93.12	"河川水質管理システム開発"	179,990	別添1参考
94.1～94.12	"水質改善システム開発（Ⅱ）"	240,274	別添1参考
95.1～95.12	"水質改善システム開発（Ⅲ）" "湖沼内流入河川流入部の植物による浄化処理（Ⅰ）"	108,539 20,000	別添1参考
96.1～96.12	"水質改善システム開発（Ⅳ）" "湖沼内流入河川流入部の植物による浄化処理（Ⅱ）"	110,000 20,000	別添1参考
97.1～97.12	"水質改善システム開発（Ⅴ）" "湖沼内流入河川流入部の植物による浄化処理（Ⅲ）"	50,814 36,050	別添1参考

＜93年度韓日協力事業予算＞　　（別添1）

1.“河川水質管理システム開発”
研究費の所要明細
イ.総括票　　（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
412（施設費）	150,000
413（施設付帯費）	9,990
851（経常研究費）	20,000
104（手当）	2,931
108（日用雑給）	4,305
211（国内旅費）	3,122
213（国外旅費）	4,000
221（需用費及び手数料）	1,000
229（材料費及びその他）	3,642
241（公共料金）	1,000
合計	179,990

＜94年度韓日協力事業予算＞

1.“汚排水処理新工法研究（Ⅳ）”
研究費の所要明細
イ.総括票　　（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
234（特辦費）	600
412（施設費）	102,500
413（施設付帯費）	6,248
851（経常研究費）	86,755
104（手当）	5,509
108（日用雑給）	16,476
211（国内旅費）	11,118
213（国外旅費）	5,363
221（需用費及び手数料）	9,730
229（材料費及びその他）	29,965
241（公共料金）	1,200
251（賃借料）	4,000
264（施設装備維持費）	3,844
合計	196,103

2. “水質改善システム開発（Ⅱ）ー河川及び湖沼の環境容量算定技法の開発ー”
研究費の所要明細
イ. 総括票

（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
412（施設費）	200,000
413（施設付帯費）	6,720
851（経常研究費）	33,554
104（手当）	6,036
108（日用雑給）	6,327
211（国内旅費）	5,340
221（需用費及び手数料）	3,560
229（材料費及びその他）	11,291
241（公共料金）	1,000
合計	240,274

<95年度韓日協力事業予算>

1. “汚排水処理新工法研究（V）”
ー中小規模汚水及び畜産排水処理工法の処理性の評価ー
研究費の所要明細
イ. 総括票

（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
204-01（特辦費）	1,800
402（実施設計費）	3,018
404（施設費）	60,000
207（試験研究費）	82,300
104（手当）	9,668
108（日用雑給）	14,028
211（国内旅費）	9,479
213（国外旅費）	6,117
221（需用費及び手数料）	7,500
229（材料費及びその他）	20,508
241（公共料金）	6,000
251（賃借料）	3,000
264（施設装備維持費）	6,000
合計	147,118

2. “水質改善システム開発（Ⅲ）”

研究費の所要明細

イ. 総括票

（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
207（試験研究費）	
104（手当）	12,222
108（日用雑給）	18,420
211（国内旅費）	11,497
213（国外旅費）	4,967
221（需用費及び手数料）	10,550
229（材料費及びその他）	39,983
241（公共料金）	4,800
251（賃借料）	6,100
合計	108,539

3. “湖沼内流入河川流入部の植物による浄化処理（Ⅰ）”

研究費の所要明細

イ. 総括票

（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
207（試験研究費）	—
104（手当）	—
108（日用雑給）	5,200
211（国内旅費）	1,400
221（需用費及び手数料）	3,000
229（材料費及びその他）	10,000
251（賃借料）	400
264（施設装備維持費）	—
合計	20,000

＜96年度韓日協力事業予算＞

1. “汚排水処理新工法研究（Ⅵ）”
一実規模プラント運転による汚水及び畜産排水処理の技術開発一
研究費の所要明細
イ. 総括票　（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
204-01（特辦費）	2,250
402（実施設計費）	4,887
404（施設費）	90,000
406（施設付帯費）	810
207（試験研究費）	57,053
104（手当）	6,229
108（日用雑給）	12,120
211（国内旅費）	9,063
213（国外旅費）	5,858
221（需用費及び手数料）	4,000
229（材料費及びその他）	9,783
241（公共料金）	6,000
251（賃借料）	2,000
264（施設装備維持費）	2,000
合計	155,000

2. “水質改善システム開発（Ⅳ）”
研究費の所要明細
イ. 総括票　（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
207（試験研究費）	
104（手当）	11,958
108（日用雑給）	19,080
211（国内旅費）	14,000
221（需用費及び手数料）	12,162
229（材料費及びその他）	48,000
241（公共料金）	4,800
合計	110,000

3. “湖沼内流入河川流入部の植物による浄化処理（Ⅱ）”
研究費の所要明細

イ. 総括票　（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
207（試験研究費）	—
104（手当）	—
108（日用雑給）	5,200
211（国内旅費）	1,400
221（需用費及び手数料）	3,000
229（材料費及びその他）	10,000
251（賃借料）	400
264（施設装備維持費）	—
合計	20,000

<97年度韓日協力事業予算>

1. “汚排水処理実用開発に関する研究（Ⅰ）”
研究費の所要明細

イ. 総括票　（単位：千ウォン）

区分 / 費目	予算
204-01（特辦費）	2,400
402（実施設計費）	3,773
404（施設費）	75,000
406（施設付帯費）	675
207（試験研究費）	73,194
104（手当）	6,030
108（日用雑給）	6,428
211（国内旅費）	15,077
213（国外旅費）	7,348
221（需用費及び手数料）	4,500
229（材料費及びその他）	15,811
241（公共料金）	9,600
251（賃借料）	3,600
264（施設装備維持費）	4,800
合計	155,042

2. "水質改善システム開発（V）"
研究費の所要明細
イ. 総括票

(単位：千ウォン)

区分 / 費目	予算
207（試験研究費）	
104（手当）	2,672
108（日用雑給）	15,266
211（国内旅費）	8,151
221（需用費及び手数料）	3,000
229（材料費及びその他）	21,725
合計	50,814

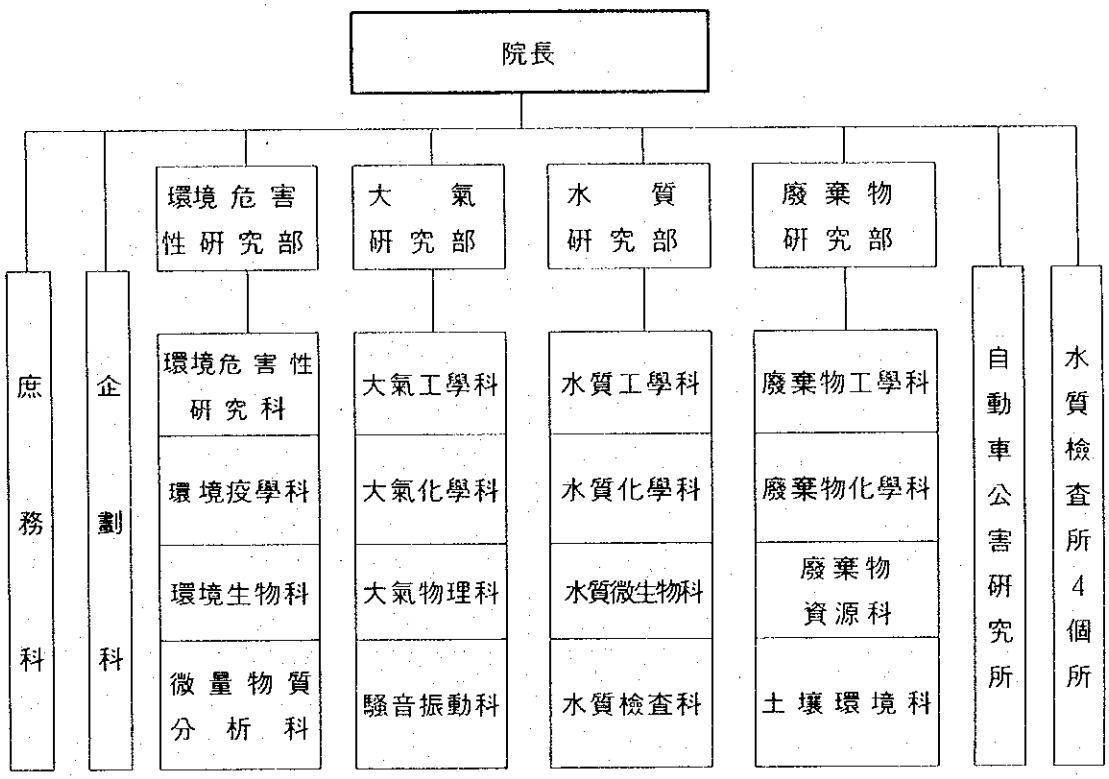
3. "湖沼内流入河川流入部の植物による浄化処理（Ⅲ）"
研究費の所要明細
イ. 総括票

(単位：千ウォン)

区分 / 費目	予算
204（業務費）	300
207（試験研究費）	—
104（手当）	—
108（日用雑給）	1,430
211（国内旅費）	9,509
221（需用費及び手数料）	5,635
229（材料費及びその他）	12,500
264（施設装備維持費）	5,000
合計	36,050

（7） 国立環境研究院の組織表および定員数

1) 機構（4部 2課 16科 自動車公害研究所 4個 水質検査所）



2) 人力

（定員 / 現員 ：'98.3. 現在 ）

總員	研究職	行政職	技術職	機能職
210 / 210	140 / 138	20 / 18	4 / 5	46 / 49

7. 他國との連繋協力實績. 同分野における他の協力事業の動向

特になし

(8) 水質環境関連データ

1. 事前調査團報告書 p15-16 "下水及び廢水の排出狀況", 表 6 "主要4大江の本流水質", 表 7 "主要湖水の水質"

1) 下水及び廢水發生量 展望

(單位:萬㎥)

年度 / 汚染源	1993	1997	2001
計	2,055	2,376	2,654
生活計	1,397	1,592	1,787
産業界	641	767	849
畜産計	17	17	18

2) 主要四河川の本流の水質

(BOD, ,mg/L)

地域	基準	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
漢江(Paldang-ho)	I	1.2	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.3	1.4
洛東江(Mulgum)	II	3.6	3.0	4.0	3.3	3.4	4.6	5.1	4.8
錦江(Tacchong-ho)	I	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.2	1.5
榮山江(Naju)	II	6.6	6.7	5.6	5.6	4.5	7.3	7.0	5.6

3)主要な湖の水質

(1992年, mg/L)

原流	湖	COD	全窒素	全リン	榮養レベル
漢江	Chungju-ho	1.7	1.742	0.017	中榮養湖
	Uiam-ho	1.9	0.793	0.035	β-中榮養湖
	八堂湖	2.0	1.533	0.071	β-中榮養湖
洛東江	安東湖	2.0	1.046	0.020	中榮養湖
	Chinyang-ho	2.5	1.067	0.015	中榮養湖
錦江	大田湖	2.1	0.904	0.026	中榮養湖
榮山江	榮山湖	4.9	1.922	0.125	中榮養湖

同 表

(1996年, mg/L)

原流	湖	COD	全窒素	全リン	榮養レベル
漢江	Chungju-ho	2.1	1.766	0.022	中榮養湖
	Uiam-ho	2.3	1.846	0.031	β-中榮養湖
	八堂湖	3.1	2.702	0.041	β-中榮養湖
洛東江	安東湖	2.4	1.785	0.022	中榮養湖
	Chinyang-ho	3.0	1.537	0.014	中榮養湖
錦江	大田湖	2.5	1.926	0.027	中榮養湖
榮山江	榮山湖	4.2	3.882	0.150	中榮養湖

（9） 水質改善・水質管理分野の民間技術力変遷

1) この分野の民間次元で参考を要する研究成果があれば、その項目及び内容

特になし

2) この分野に屬する韓國民間企業の數・規模の推移

（ 單位 ： 個所 ）

年 度 / 分 野	1994	1996
淨化槽設計・施工業體	553	618
淨化槽製造業體	28	31
汚水淨化施設設計・施工業	520	789
畜産廢水處理施設 設計・施工業	303	384

3) この分野に屬する韓國民間企業の業績の推移

（ 單位 ： 個所 ）

年 度 / 分 野	施設工事(1995)
淨化槽設計・施工業體	5,076
淨化槽製造業體	135,537
汚水淨化施設設計・施工業	376
畜産廢水處理施設 設計・施工業	170

(10) 環境分野（特に水質汚染分野）における国家次元の施策や行動計画の動向

1) 「中期 水質改善計劃」(1992-97)の主たる成果

區 分		全體計劃		投資內譯('93~'96)			'97計劃		備考
		事業量	事業費	計劃(A)	實積(B)	投資率 %(A/B)	計劃	確保	
計		-	159,788	132,702	122,734	92.5	27,086	49,279	-
原水水質改善	小 計	-	78,185	66,100	56,626	85.7	12,085	23,501	-
	下水處理場	295個所	50,539	42,462	34,532	81.3	8,077	14.627	環境部
	糞尿處理場	86個所	1,876	1,876	1,382	73.7	-	354	"
	畜産廢水處理場	84個所	3,504	3,104	1,912	61.6	400	356	"
	工團廢水處理場	142個所	3,511	3,376	2,665	78.9	135	1,058	"
	河 川 淨 化	82個河川	1,891	1,891	1,321	69.9	-	504	"
	下水道整備	7500Km	15,000	12,000	13,330	111.1	3,000	6,181	"
	金湖江對策	53Km	1,864	1,391	1,484	106.7	473	421	建設交通部
上水道改善	小 計		81,603	66,602	66,108	99.3	15,001	25,778	
	多目的댐	8個	14,620	10,639	9,057	85.1	3.981	4,068	建設交通部
	廣域上水道	21個	19,047	16,639	12,996	78.1	2.408	5,596	"
	高度淨水處理	18個所	3,493	2,656	2,660	100.2	837	577	環境部
	地方上水道	26,762Km	44,443	36,668	41,395	112.9	7,775	15,537	環境部

2) 上記計劃終了後に新たに策定された同種類の計劃等の有無, ある場合にはその內容

○ 第 2次 環境改善中期綜合計劃樹立(1997-2001)
- 廣域上水道及び工業用水道 28個所 建設
- 廣域上水道 供給比率 60%へ提高
- 高度淨水處理施設設置 16個所 建設
- 飲用水 水質基準項目 85個へ擴大
- 下水處理率 60%へ提高（下水處理施設 155個所 建設）等

(11) 金大中大統領「政府100大課題」(日本語訳)

1．経済

(1) 経済安定および再跳躍のための土台の確立

(イ) 大統領主宰の「貿易・投資促進戦略会議」の設置・運営

(ロ) 競争促進および流通構造の画期的な改善による物価安定基盤の構築

(ハ) 金融機関の競争を促進し、健全な競争のための監督を強化

(ニ) 企業の構造調整を促進し、強い企業を誘導

(ホ) 中長期を中心とした外債構造への改善、投機性資金に対する対応努力の強化

(ヘ) 租税の透明性および効率性を高め、納税者の便宜を向上させる

(ト) 財政支出の効率性を高めるため、財政制度を一から改革し直す

(チ) 民営化および競争促進により、公企業の経営革新を誘導

(2) 21世紀の情報化社会に向けた準備

(イ) 情報化を促進し、パソコン一人1台体制への誘導

(ロ) 情報通信人材の養成および戦略的革新技術の開発

(ハ) 多チャンネル化時代の幕を開き、デジタルテレビの放送を施行

(3) 科学技術の振興と産業体質の改善

(イ) 国家科学技術研究事業の効率性を高める

(ロ) 基礎科学の振興および科学技術の優遇政策の強化

(ハ) 中小企業およびベンチャー企業を経済発展の主役として育成

(ニ) 知識集約産業の育成および伝統産業の高付加価値化の誘導

(ホ) 技術革新を通じた成長潜在力の拡充

(ヘ) 気候変動枠組み条約に対する積極的な対処およびエネルギー節約施策の強化

(4) 公正な競争条件を整えるための経済正義の実現

(イ) 市場構造を競争型に改編

(ロ) 専門化し、信頼される大企業像への誘導

(ハ) 公正な取引秩序の確立および消費者保護

(5) 農業生産者および消費者が恩恵を受ける農業政策の改革

(イ) 主要穀物の安定的供給および糧穀管理制度の改善

（ロ） 農産物流通構造の画期的改善

（ハ） 農林水産関連組織の縮小、調整により効率性を高める

（ニ） 農業政策金融を統合し、資金運営の効率性を高める

（ホ） 農業の生産性を高めるための構造改編の推進

（ヘ） 農漁民負担軽減等農・漁業者の福祉増進の支援

（6） 海洋資源の活用による海洋富国の実現

（イ） 海洋管理の強化および海洋資源の積極的な開発

（ロ） 海洋環境の保全および海洋安全の確保

（ハ） 海運・港湾産業の競争力強化

（ニ） 水産業の構造調整および漁村の体系的開発

（7） 政・労・使が共に協力する社会

（イ） 失業者の支援を強化し、職業訓練を充実させる

（ロ） 労働市場の柔軟性を高める

（ハ） 勤労者の福祉強化および労災・雇用保険制度の整備

（ニ） 政労使が相互信頼する新しい枠組みの確立

（8） 国土の効率的な利用および交通政策の先進化

（イ） 均衡のとれた地域開発および土地供給の拡大

（ロ） 基幹交通施設の拡充および大衆交通の活性化

（ハ） 水資源開発の拡大により水不足に備える

（ニ） 住宅普及率100％を達成することにより、国民の住居生活を安定させる

（ホ） 開発制限区域を合理的に改善

（ヘ） 大型国策事業の効率的な管理

2．統一・外交・国防

（1） 平和統一に向けた基盤の醸成

（イ） 南北基本合意書の履行により、南北関係改善の基盤を整える

（ロ） 政経分離の原則により、南北経済協力を積極的に推進

（ハ） 民族同質性の回復のための社会文化・交流協力の活性化

（ニ） 離散家族の再会および書簡往来を速やかに実現させる

（ホ） 南北朝鮮主導による朝鮮半島の平和体制の構築

（ヘ） 対北軽水炉事業の円滑な推進

（ト） 国民的合意と支持に基づいた統一政策の推進

（２） 国益の極大化のための能動的外交活動の展開

（イ） ＩＭＦ危機克服のための経済・通商外交の強化

（ロ） 周辺４カ国との未来志向的友好協力関係の確立

（ハ） 外交部門の効率性を高める

（ニ） 世界化に備え、汎国民的な外交力量拡大への努力

（ホ） 在外韓国人の指導的役割および自助的努力の支援

（３） 確固たる国防：信頼を受ける軍隊の確立

（イ） 確固たる韓米安保協力の維持およびマルチの安保協力体制への発展

（ロ） 国家危機管理能力の強化のための体制整備

（ハ） 軍人事の公正性を高め、軍の士気と福祉を増進

（ニ） 軍構造の改編による戦闘体制の強化

（ホ） 透明かつ合理的な防衛力の改善および軍需調達の推進

（ヘ） 社会指導層が率先して兵役につくよう、公正な兵役制度を設ける

（ト） 国民の便宜増進および権益保護により「国民の軍隊」像の確立

（チ） 報勲家族および参戦・除隊軍人に対する名誉をたたえ、福祉支援を強化する

３．教育・文化・福祉・環境

（１） 学生、教員、父兄が満足する教育サービスの提供

（イ） 学生を主体とした自己主導的学習能力および多様性の向上

（ロ） 父兄の私教育費負担の軽減の推進

（ハ） 教員の勤務条件の改善および人事制度改善を通じた優秀教員の確保

（ニ） 教育部門の効率性の向上および教育自治基盤の醸成

（ホ） 産業需要に合致した産業教育体制の構築

（２） 国民の文化的欲求の充足

（イ） 文化芸術創作活動を活性化し、享受する機会を拡大させる

（ロ） 文化および観光産業を21世紀の有望産業として育成

（ハ） 国民の生活体育を振興し、国際競技大会を成功的に開催

（ニ） 青少年が夢と希望を実現する健康な社会の建設

（ホ） 世界化時代に応じた先進放送体系の構築

（3） 生活の質を高める福祉行政の改善

（イ） 低所得層、老人、障害者等弱者に対する福祉の拡大

（ロ） 国民健康保障のため、医療保険制度を改善

（ハ） 老後生活保障のため、国民年金制度を改善

（ニ） 事前予防的健康管理体系の強化および食品医薬品安全性の確保

（ホ） 健全な家庭儀礼および食品文化の定着

（4） 清らかでクリーンな環境保全

（イ） 良質な水の供給のための上水源水質の改善

（ロ） 環境にやさしい生産体制の確立および先端環境技術の開発支援

（ハ） 開発と保全を調和させ、持続可能な社会基盤の構築

（ニ） 大都市空気汚染の改善

（ホ） 廃棄物の管理体系の合理化

4．政務・法務・行政

（1） 男女が平等に働く社会

（イ） 男女平等社会の構築のための差別的制度・慣行の改善

（ロ） 女性の雇用促進および地位向上

（2） 人権が尊重される法治国家

（イ） 人権保障および司法サービスの画期的な改善

（ロ） 検察・警察の政治的中立の保障

（ハ） 自治警察制の導入等治安能力の強化

（ニ） 校内暴力および庶民の生活を侵害する犯罪に積極的に対処

（ホ） 生命を重視した交通事故防止体系の構築

（3） 地域住民に良質な行政サービスの提供

（イ） 地方自治団体の自立性および住民の直接参政制度の拡大

（ロ） 地方行政の階層構造の改編および組織縮小の推進

（ハ） 地域間の紛争調整機能の強化

（ニ） 地方財政拡充および地方税制の全面的な改編

（ホ） 地方所在企業の競争力強化の支援

（ヘ） 災難管理体系の画期的な改善

（ト） 民間運動の体系的な推進と支援強化

（4） 中央政府の競争力の強化

（イ） 不合理な行政規制を果敢に撤廃する

（ロ） 政府組織および人事管理に企業経営方式を導入する

（ハ） 政府機能の民間・地方委譲の拡大および末端機関の整備

（ニ） 競争とインセンティブ制導入等により公職社会の生産性を高める

（ホ） 政策実名制と行政情報の公開拡大により開かれた政府を具現

（ヘ） 監査の重点を予防と積極的な行政を促進する方向へ転換

JICA